

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	22420	
事業名	国際交流施設運営管理費						
評価担当課	所属名	総)国際部 交流課					
	課長名	細川 秀樹	担当者名	吉田 亮太	電話番号	011-211-2032	
施策名	主	-					
	副						
アクションプラン	○ 対象 ● 対象外		戦略ビジョン	○ 対象 ● 対象外			
事業の性質	● 経常経費 ○ 臨時的経費						
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理						
事業内容	実施形態	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他					
	目的	短期	①市民と外国人がスポーツ、文化活動を共に行う機会を創出する。 ②海外からの留学生に良質な住まいを提供することで、札幌への留学生誘致を推進する。				
		長期	①市民と外国人がスポーツ、文化活動を通じて相互理解を深め地域の国際交流を推進する。 ②海外からの留学生に宿泊施設等を提供し、市民との交流及び相互理解の場を設けることで、国際交流を推進する。				
	取組内容	国際部所管施設(①札幌国際交流館、②札幌留学生交流センター)について、管理運営を行う。 ・指定管理者制度による運営 ・施設維持:施設の維持管理に伴う修繕等					
	実施結果	両施設ともに新型コロナウイルスの影響を受け、事業の実施回数などが前年に比べて減った。 ①指定管理者の(一財)札幌市スポーツ協会の運営により、利用者から高い満足度を得るなど良好な管理がなされている。国際交流事業は前年より減ったものの13事業実施した。 ②指定管理者の(公財)札幌国際プラザにより運営が行われているが、入居率が前年度に引き続き60%程度と低迷した。また、留学生と市民との交流事業も2回の実施にとどまった。					
事業実施における工夫点	①②ともに事業の実施について、市と連携を取りながら新型コロナウイルスの感染拡大に十分に配慮し実施した。						
対象者	外国人市民、留学生、JICA等研修生を含む市民			開始	令和3年度	終了	0年度
関連法令・条例・要綱等	①札幌国際交流館:札幌国際交流館条例及び同条例施行規則 ②札幌留学生交流センター:札幌留学生交流センター条例及び同条例施行規則						
他都市の状況							

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算
事業費	131,548	137,688	126,680	144,826
うち特定財源	0	0	0	0
人工	0.6	0.6	0.6	0.6
人件費	4,320	4,320	4,320	4,320
計(事業費+人件費)	135,868	142,008	131,000	149,146
事業費の内訳	令和3年度決算	①指定管理費用106,310千円、施設維持管理業務1,307千円、修繕業務2,873千円、その他646千円 ②指定管理費用12,675千円、軽スポーツ室使用料徴収業務231千円、修繕業務10,425千円、その他2,579千円		
	令和4年度予算	①指定管理費用106,310千円、施設維持管理業務1,109千円、修繕業務11,156千円、その他500千円 ②指定管理費用12,675千円、軽スポーツ室使用料徴収業務231千円、修繕業務8,421千円、その他4,424千円		

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	国際交流館施設利用者数(人)			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	53853	97000	42673	11280	
活動指標2	指標名	留学生交流センター 宿泊室入居率(%)			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	59.4	75	59.4	80	
成果指標1	指標名	国際交流館 国際交流事業における参加者数(人)			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
	2722	3800	2768	600	
成果指標2	指標名	留学生交流センター 地域交流事業参加者数(人)			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
	139	1000	88	1000	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	B	①利用者の満足度はとても高かったものの、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、一般開放の休止や休館した期間があったことから、利用者数は前年度よりさらに減少した。 ②前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、留学生の受け入れが減少したことで入居率が減少した。新型コロナウイルス感染症の対策として、入居者に感染者が発生しないよう施設内の消毒や入居者への注意喚起を適切に行い感染防止に努めた。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	①他の市内体育施設と比較しても、サービスの規模・水準ともに劣ってはならず、適切に運用されている。 ②新型コロナウイルスの影響を受けつつも、市有施設として感染対策を徹底し、実施可能な事業を適切に選択し実施しており、適切な事業規模で運用されている。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	①②指定管理の手法を取ることで、スポーツを通じた交流や外国人入居者と市民との交流のノウハウを持つ指定管理者が事業を行っており、効果的な事業手法となっている。			
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	①②利用者・入居者のアンケートで、施設職員の対応について、利用者・入居者のほぼ100%の方々に満足頂いている。			
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応		<input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映
今後の改善点	①利用者数の増加及び実施事業の内容等について、引き続き指定管理者と連携して取り組む。 ②入居率の確保や留学生と市民との交流、老朽化した備品の交換等について、指定管理者と連絡調整を図りながら実施する。				
前回の評価	<input checked="" type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	なし		見直し効果額 (前年度)	0	千円
今回の評価	<input checked="" type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	①②指定管理者の運営は本市の要求水準を満たさなかったものの、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けたことが理由であり、避けがたい理由による。アンケート結果においては利用者・入居者から高い満足度を得ている。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	<input checked="" type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 休止・廃止 ①②引き続き円滑な施設運営をするため、指定管理者と連携して取り組んでいく。その中で、新型コロナウイルス禍ではあるが、利用者・入居者の確保に向けて、サービスの手法をブラッシュアップするなどして効果的な施設運営をする。			
	予算	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> その他 ①②前年度とほぼ同内容とする。		見直し効果額	0